

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 24 年 1 月 26 日(木)18:30～19:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 6名 欠席委員数 1名
出席委員の氏名 深田 剛／稲沢 裕子／川畑 裕徳／俵 淳子／三井 直子／野村 真仁
欠席委員の氏名 椛山 晶典
放送事業者側出席者名
丸田 泰史／沖元 眞実／元井 庸介／上野 紋／渡 陽子

4 議題

番組内容の審議(「奄美音紀行」について)

5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 番組内容の審議(「奄美音紀行」について)
- (3) その他質問など
- (4) 次回の審議会について
- (5) 事務局から

6 審議内容

事務局からご報告

(1) 三井委員の遅れと、椛山委員の欠席の報告。 あまみエフエム代表麓の欠席が報告された。

(2) 番組内容の審議(奄美音紀行)

深田委員長

それでは順番にご意見伺ってまいりたいと思います。川畑委員からお願い致します。

川畑委員

番組の構成、流れについて特に問題はないと思う。ナレーションの内容ですが、とても分かりやすく詳しい内容でした。小学生や中学生でも理解できる内容で良いと思いました。島に生息する動植物をモチーフとしていますが、これを聴くと実際に見たくなりました。もっと詳しく調べたくなる気持ちがしました。声と環境音のバランス・間なども問題ないと思いました。取り扱っている題材が適切かという点においては、僕は袖に携わっているので、泥染めの音、締め機などの織る音があると良いんじゃないかなと思いました。

あと、時間帯についてですが 5 分間の番組ですよね？毎日ランダムな時間にあっても良いと思いました。ナレーションは聴きやすいと思いますが、もう少し明るめのテンションでも良いのかなと思いました。また男の人の声でも聴いてみたいですね。

野村委員

まず、少し失礼な言い方ですが NHK の番組のマネだなんて思いました。しかし、僕は職業柄島のいろんな場

所に行くので、音紀行を聴いて、これはあの場所なんじゃないか？あそこで聴いた音かなとイメージがわかりました。なので聴けば聴くほどのめりこんだという部分はありました。また、先ほど川畑さんもおっしゃっていましたが、ナレーションがお経のように感じられました。もう少し、感情を込めて主観的な部分があっても良いんじゃないかと僕は思いました。そういう風に思ったからまじめな NHK の番組を思い出したのかもしれませんが。あまみエフエムのほかの番組のように喋っている人の顔と形が見えるような表現があっても言いと思う。その部分があればもっと良くなるのではないかなと思いました。

稲澤委員

私は最初に聴いときに、聞き惚れました。たしかに NHK の音の風景の島バージョンという感じでしたがこんなに素敵に出来るのだなと感動しました。ナレーションですが、私は逆に聞き流せる、前に出てこないということが良かったと思いました。あまり気にならなかったのですが、見送りの風景の回は、人の声ガナレーションとかぶってどっちがどっちかなと思うことはありました。内容と流れをフォーマットにするべきか？という問いかけがありましたが、これはあまり考えなくてもいいかなと思っています。とりあげる題材はすばらしいと思います。先ほど川畑さんがおっしゃっていましたが、私もお酒を販売しておりますので、黒糖焼酎を注ぐ音などあってもまたいいなと思います。

放送時間帯ですが、内容によるとは思います。鳥の声の回とかはやはり朝に聴きたいですね。またナレーションは交代制で問題はないと思います。男の人の声でも聴いてみたいですね。私はこれを聴いて、内地にいるオジ・オバに送りたい！と思いました。あまみエフエムで販売したら絶対に売れるんじゃないかなと思いました。島外に出て行ってしまった人で、サイマルラジオは聴いているけれどやはりすべては聴けませんので、こういうものがあれば買ってすぐに送れるし、また注文したいと思うんじゃないかしらと感じました。

あとひとつだけ、梅雨の回で「ナガシ(奄美では梅雨のこと)の季節です。」という始まりでした。そのあと説明がありませんでしたので、これはちょっとわかるのかなあと思いました。

俵委員

奄美音紀行というタイトルコールの後、すぐに本題に入りますよね。タイトルコールの後、少し番組についての説明など入れたほうがいいかなと思いました。時間・構成・流れはすごく良いと思いました。ナレーションは適当だと思うのですが、野村さんがおっしゃったようにもう少しずした表現があっても良いと思うし、それに付随して交代制の方が良いと思います。また、例えばあまみエフエムで番組を持っているアーティストとかがやったらそのファン層が聴いたりすると思う。あと、アカショウビン(鳥)の回は物語調になっていてとても聴きやすかった。音に合わせて構成は変えていって良いと思います。取り上げている題材についてはとても良いと思います。私の出身集落の八月踊りの話が出ていた時はとても聞き入ってしまいました。学校の校歌などあっても良いかもしれませんが。先ほど、鳥の声は朝に聴きたいという意見があり、たしかにそうだと思ったのですが、船だったら夕方、八月踊りだったら夜とか題材によって相応しい時間帯・季節があるなと思いました。

深田委員長

あまみエフエムの幅広い番組構成のなかから考えてもとても良い番組であると感じました。ナレーションは稲澤さんもおっしゃっていましたが、音がメインの番組なので淡々としている感じで良いと思います。ですが他のバージョンでも聴いてみたいなのもあります。全編を通して聴きづらいという印象は受けませんでした。自然の音のナレーションの場合、現在のやり方、朗読形式みたいな感じで良いのではないかなと思うが、祭りや港の情景など人の声が出てくる場合、ナレーションももう少し熱が入ったものが欲しいと感じた。

また、季節によって観光名所などの音源を制作すれば観光関連のスポンサーがついたりしないかなという気もしました。この番組はスポンサーついてないんですよね？ サイマルが聴けるようになって今から島外のスポンサーをとという話になってくるとき、季節にこだわったりすると、またさっき島外にいるおじいちゃん、おばあちゃんに聴かせたいという話もありました直結できると思うんですね。あと、市場とか漁協とかの音もいいんじゃないかなと思います。時間帯についてなんですが、今結構バラバラですね。でもこの方がいろんな層のリスナーを捕らえることが出来て良いのではないかなと思う。島外の方に向けたとしても、この方がいろんな方に聴いて頂けると思います。

三井委員

個人的にすごく大好きな内容です。私は自然の音など寝る前などに聴いたりするので凄く聴きやすくて、また島の外にいる人たちが喜んで聴くだろうなという構成でした。ナレーションの内容について、鳥の名前だけでなく羽根の色などを教えてくれたりして、画が浮かんで凄く聴きやすかった。音とのバランスも良いと思いました。題材について、昔遊びというのを今学校で教えていたりするのですが、貝殻やソテツのナリ(実)で色々作ったりします。これを音と共に紹介できないかなと考えてみたり、あとは料理系とかはどうでしょうか？ 正月じゅうり(料理)とかを云われとかを紹介しながら、音はちょっと難しいと思うのですが。鶏飯とか・・・それこそスポンサーがつきそうですね。ナンゴ遊びもいいですね。大島高校の卒業生なもので名物の大高応援団とか、ムカデ競争とか。また、奄美らしさとはちょっとずれますが、市民合唱団とかで活動されている方もおられますので、逆に募集をかけたりにして出演して頂くのも良いかもしれません。今は1週間同じものを流されているんですよね？ これは同じでなくてバラバラでも良いかもしれないですね。あとナレーションの声については、男のかたはもちろんお年寄りや子供でも良いかもしれませんね。題材によって変わって良いかもしれませんね。

深田委員長

ありがとうございました。それでは3番のその他質問のほうに移ります。あまみエフエム側からあればどうぞ。

—あまみエフエム 元井

この企画は自然観察の森を管理している宇都宮英之さんからやりたいというお話を頂き、僕も同じようなものをやりたいと思っていたので、宇都宮さんを訪ねてお話をしたんですね。それで、ナレーションは邪魔にならないくらいの声でということで、局の沖元にやってもらっています。ずっとその意識でやっていたもので、ナレーションを変えるということを躊躇していたこともあったのですが、今日こういう意見を頂きましたので、ああそれでは他の方でも試してみようという気持ちになりました。音を収録してきた方と制作者が違う人間だと、その場の風景を見ていないのでナレーション文言とかを書きにくかったりします。自分がとりに行かないと書けないというのが悩みですね。またスタッフ同士だとニュアンスを伝えやすいというのもあります。そこをもっと効率よく、誰にでも出来るような形にならないかなと思っています。

俵委員

映像も一緒に撮るといのはどうでしょう？ イメージしやすいですよ。ナレーション文言も書きやすい。

—あまみエフエム 元井

そうですね。そういうことも必要になってきますね。また、始めた当初から島外の方が一番懐かしく思うだろうなというのありましたので、スポンサーをとって行きたいというのがあります。あと、(口伝えで伝承される)八月踊り

や(絶滅危惧種の)カエルの鳴き声など、島の音の記録としても続けて行きたいと思っています。最初の目標としては1週間に1本制作して、それを6年続けたら大体365本ほどできる、そうしたら6年以降は毎日違うものが流せるなどというものがありました。がぜんぜん追いつかないんですね(笑)。なので制作をもう少し軌道に乗せたいなという想いがあり今日は相談させて頂きました。今日の話聞いて、元ちとせさんや中孝介さんの声という案も面白いなと思いました。

深田委員長

結構、ラジオに耳を傾ける時って、ご年配のかたの音が流れる時だったりします。あと子供の声とかね。そういうバージョンでも聴いてみたいですね。題材によるとは思いますが。

俵委員

例えば数を少し増やしたいということなら、応募制にしてみると良いんじゃないでしょうか。

野村委員

コンテストにしても良いかもしれませんね。

また、別の話になりますが、私の仕事では外国人のお客様もいらっしゃいます。その方たちが英語で喋ってくるともう少しわかるのになあとっています。今、奄美大島を世界遺産にしようという動きがありますよね。バイリンガルにすることによって、PRをしているという名目で県や国をスポンサーにつけたりということも出来ないかなと思う。サイマル放送を行っているから、世界にもアピールできますよね。なのでステレオ放送の右が日本語、左が英語とか、それもずっとではなくある時間帯だけとか1ヶ月に1回でも効果があるのではないのでしょうか。

深田委員長

その案は良いかもしれませんね。特に音紀行は音がメインの番組なので外国語がのったとしてもBGM風に聞こえてくるかもしれない。もし5回放送するとしたら4回日本語で1回は英語放送にするとかね。そうするとなおさら観光系のスポンサーがついてくるかもしれない。反応がよければ、中国語とかね(笑)

川畑委員

取り扱う題材に島唄はありますか？島唄の一節でもいいので、例えば朝花節であれば「今日ぬほこらしや、いつよりも勝りて」とかって聞いてはいるけど意味がわからない人は多いのではないのでしょうか。訳を言ったり、また朝花は宴の始まりに唄うとかそういう云われを教えたりすると取っ掛かりになる人もいるし、懐かしいと思う人もいるかもしれない。ただ最初は意味がわからないというのが多いと思うんです。

—あまみエフエム 元井

別の番組でそれは考えていたんですけど、音紀行でやってみるのもありかもしれませんね。

深田委員長

僕もいまひとつ思いついたことを。学校の授業風景、先生と生徒やりとりとか、爺ちゃんと孫のやり取りとかを音で取れたりしたらいいなと思いました。島唄も口伝えですよ。そういうのも良いかと思いました。

(3) その他質問など

川畑委員

またまったく別の質問なんですが、夜中にアンコール放送が始まるタイミングであまみエフエムアナウンスがありますよね。あのときに流れる BGM は何でしょうか？ 凄く不思議な感じがします。暗く感じて、夜ではあるのですがもう少し明るい感じにしたほうが良いかと個人的に思いました。

—あまみエフエム 元井

あれは昔のテレビ番組の金曜ロードショーのテーマ曲ですね。あまみエフエムで番組をやってもらっているピアニストの村松健さんにも同じことをいわれたことがあります(笑)。

(4) 次回の審議会について

「マンディ・ドミンゴ」について

深田委員長

次回の審議会については資料の通り、「マンディ・ドミンゴ」という番組についての審議です。

—放送局 元井

お配りした資料のとおり、この番組は毎日朝の生番組スカンマーワイドと昼の生番組ヒマバンミショシーナの中で放送している「島の宝奄美っ子」と「ナキャワキャ島自慢」というコーナーがあります。1 週間テーマを持って日替わりで内容が変わっていくのですが、それを日曜日にまとめて放送しています。意図としては、毎日「続きはまた明日！」とっているのですが、なかなか毎日聴ける人も少ないでしょうし、1 週間まとめて聴いてもらえるとテーマや内容がより濃く伝わるのではないかなと思って放送しています。結構新しい番組で、まだ始まって 3 ヶ月ほどですね。それで、ナキャワキャ島自慢を上野が、島の宝奄美っ子を渡が担当しておりますので、それぞれの内容を担当から紹介します。

—放送局 上野

ナキャワキャ島自慢は開局当初から制作している、生ワイド番組の中の 5 分ほどのミニコーナーです。1 週間ひとつのテーマ例えば、昨年 10 月頃に制作したのは豪雨災害から 1 年、その後 2 回の災害もありましたが、その中で島の皆さんがどのように感じたかなどや、またはシンプルに各集落の自慢ですね、自分のシマの自慢たとえば豊年祭のみき作りに 1 週間密着した様子などを届けています。このコーナーは島の暮らしにまつわることや伝統など取材対象は結構幅広いのが特徴です。

—放送局 渡

島の宝奄美っ子は、奄美の子どもたちに将来の夢や発表会があるときは歌を唄ってもらったりしています。聴いている人に子供ってかわいいなあ、元気だなあと思ってもらえるような番組を目指して制作を行っております。コーナーはナキャワキャ島自慢と隔週で放送されています。

次回は、3 月 8 日 19:30 からと決まる。

(6) 事務局から

番組審議会是一年の任期でお願いしております。次回の今期は最後の審議会となります。みなさん

の身近にまた適当な方おられましたらぜひご紹介いただけましたらと思います。また、今後の予定について、笠川の太陽ヶ丘運動公園にて第4回桜マラソン大会の中継、俵さんも健康増進課として参加されると思いますが奄美文化センターにてまなびフェスタにも参加します。
あと、恵那市を舞台にした「ふるさとがえり」という故郷興しの映画の上映会にも協力します。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成24年2月4日(土曜日)17:30～「ゆふいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成24年2月4日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成24年2月4日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし